

一般質問

ココがききたいQ&A

8人の議員が一般質問

過去の経験を 生かした災害対策を



かたす ゆうた
加藤 裕太
議員

Q インフラの早期復旧のためには平常時からの準備が肝要だが現在の取り組みは。

A 水道施設の早期復旧および道路災害に関しては、関係機関等との相互応援協定等により復旧体制を整えています。また、東京電力パワーグリッド(株)成田支社と連携を強化することで、携帯電話等の通信インフラの改善が見込まれます。

Q 災害時のSNS活用が重要度を増している。議員になってから要望し続けていた防災情報ツイターの運用が始まった。最大限活用するには平常時からの発信が重要。運用方針は。

A 災害時には、避難勧告等の緊急情報、避難



8月から運用が開始した
防災情報ツイッター

所の情報、ライフライン等の情報を発信していきます。平常時には、防災啓発に重点を置いた内容を発信予定です。

Q 新型コロナウイルス感染症感染対策を考慮すると避難所収容人数に変化はあるのか。

A 通常時と比べ半分以下の収容人数になると思われます。

対象を明確にした移住・定住施策を

Q テレワークの普及でワーケーションやシェアオフィス等の環境整備の検討も選択肢。どこに施策の重点を置くのか。

A これまで取り組んできた市民が住みやすい魅力的なまちづくりで定住性を高め、移住者増加につなげる施策を継続していくとともに、移住者に対する直接的な支援等

山田・栗源でも 出生・死亡・ 婚姻届けの受付を



うゑじ まさひろ
宇井正一
議員

Q 山田・栗源地域から「窓口業務などサービスが低下している。元に戻してほしい」という声が寄せられている。出生・死亡・婚姻届けを山田・栗源支所でもできるよう検討を。

A 支所業務の見直しを行い、平成31年4月からは転出入や出生等の届け出業務は、福祉や保険、年金、子育て分野への手続等が必要となるため、本庁もしくは小見川支所での扱いとしています。

Q イノシシなどの鳥獣被害の拡大は、水稲、サツマイモなどの農業に大きな影響を及ぼしている。被害防止のため、猟友会の役割強化など対策を求める。

A 市長が任命する鳥獣被害対策実施隊の設置を検討しています。猟友会のほか、農業者、市職員等、幅広く人材を確保することで、効果的な捕獲駆除につながると考えま

A 香取市活性化計画のほか、農村滞在型余暇活動機能整備計画を策定し、農林業体験による都市住民との交流促進施設の一つに位置付け、散策路等を整備しています。桜の里



自然体験エリアとしての
活用が期待される牧野の森

す。また、民間の認定鳥獣捕獲等事業者の活用も担い手対策の一つと考えますが、捕獲・駆除等に精通している猟友会員の協力は不可欠であり、その役割は大きいと考えています。

Q 橘ふれあい公園の整備が進んでいるが、小野川沿いの観光エリアと有機的なネットワークを図る自然体験エリアとして「牧野の森計画」がある。今後の管理・活用方法は。

質問事項

- ◆災害対策・安心安全なまちづくり
- ◆移住・定住施策
- ◆新型コロナウイルス感染症対策

も検討していきます。

Q 地域おこし協力隊の活動内容と今年度の目標は。

A 地域おこし協力隊の2人は、水郷佐原観光協会に勤務し、ホームページやSNSでの観光情報の発信、各種団体との協力、調整業務に取り組んでいます。市や観光協会の業務等を通じ、将来の定住へとつなげるため、地域団体や住民との交流、親交を深めながら活動しています。

目的に沿った抗原検査の継続を

Q 香取おみがわ医療センターの抗原検査のキャパシティは。

A 1日に10件ほど行える体制です。

質問事項

- ◆山田・栗源支所の在り方
- ◆市における鳥獣被害の実態と今後の対策
- ◆橘ふれあい公園の管理運営
- ◆農業用廃プラスチックの収集業務

における里親制度の継続を含めて、引き続き各計画に基づく施策の方向等を踏まえ、その管理に努めていきます。

農業用廃プラスチック、 農家負担軽減を

Q 農業用廃プラスチック類の料金が大幅に引き上げられたが、全農・県・市は負担額を据え置き、農業者のみが負担増になった。検討いただきたい。

A 農業用廃プラスチックは産業廃棄物であることから、値上がり分は、排出事業者の責任分として生産者に負担していただきたく、県および県協議会から要請がありました。この状況を踏まえて、市協議会でも検討した結果であります。